



『卓話：ロータリー財団について』 森原 豊 会員

【会長挨拶】 北村 淳 会長

先週11月3日（文化の日）にひの煉瓦ホール・大ホールで開催されました「日野市市制施行六十周年記念式典」に出席してきました。市制施行は昭和38年（1963年）11月3日となります。式場では大坪市長、古賀議長、副市長、教育長が出席者一人ひとりに対してお出迎えをされていました。

ありがとうございます。誠にこのころで これからも、と書かれたロゴマークが日野市をよく表しています。

日野市市制施行60周年記念誌が出来ていて、これを見ると現在の日野市の姿が良く表されているなと思いました。東京でありながらなんかホッとする街を深掘りしてゆくという構成で編集されています。日野市というと多摩川・浅川や丘陵地で囲まれ、暮らしのそばに豊かに自然があります。歴史の視点に立つと新撰組ゆかりの地ということで日野宿本陣や高幡不動尊など歴史的建造物も残っています。日野市のお祭りとしては、ひの新撰組まつりを始め、ひのよさこい祭、たかはたもみじ灯路、日野市産業まつりなどがあります。日野の自然としては、湧き水の流れる黒川清流公園、田んぼも用水路もあるよそう森公園、丘陵地の雑木林、川沿いのサイクリングロード、日野産野菜などがあります。のんびり遊べる場所としては、動物と昆虫を展示する多摩動物公園や、京王あそびの森HUGHUG<ハグハグ>や京王レールランドがあります。観光名所としては、高幡不動尊を始め、百草園、日野宿本陣、ふれあい橋、小島善太郎記念館があります。と日野市の主な名所が紹介されています。

それとともに日野地域未来ビジョン2030も紹介されていました。これは2023年3月31日に策定されたもので、2030年に咲く花（こうなったらいいなという日野の理想）を描きながら、それぞれのヒノタネ（2030年に向けてのアクション）を育てあうことで、花がたくさん咲く地域を目指す参加型プロジェクトです。スローガンは「しあわせのタネを育てあう日野」。立場や世代を超えて日野市に関わるすべての人と、未来の日野へ向かうための問いを分かちあい、共に考え続け「タネ」を育てあい、2030年の日野にたくさんの花を咲かせたい、という思いです。この未来ビジョンは、29の花、17の問い、5つの行動指針で構成されています。5つの行動指針を紹介します。1,未知を面白がる、2,自分らしく働き続けられる、3,次の世代につなげる、4,ごちゃまぜの場を増やす、5,自分たちでつくる、となっています。詳しい内容は日野市のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

東京日野ロータリークラブもまもなく60周年を迎えます。この日野市の60周年記念の取り組みをクラブの60周年に生かして行ければと思います。

【幹事報告】 伊東 秀章 幹事

①東京八王子RC、東京八王子東RC、東京八王子南RC、東京八王子北RCより11月、12月の例会変更のお知らせが届いております。



《例会プログラム》

【司会】

まんぼう
例会向上委員



【開会点鐘】

北村 淳 会長

【ロータリーソング】

ソングリーダー
田中 くに子 君
『我らの生業』



【ビジター・ゲスト紹介】

なし

【出席報告】

倉林 弘明 委員

【ニコニコ報告】

西山 尚之 委員

【委員会報告】

前ガバナー補佐
社会奉仕委員会

【卓話】

森原 豊 会員



お弁当：
「ベルハート・エール」

②高幡不動尊より、令和六年 高幡御家寶(ほう)暦(れき)を各会員にいただきました。レターボックスにお入れしています。また、ポスターもいただきましたので、よろしければ帰りにお持ち帰りください。

③日野市ボランティアセンターより、ボランティアインフォメーション11月号が届いております。

【前ガバナー補佐】 小倉 裕美 会員

2日から6日まで第2750地区の富澤前ガバナーとガバナー補佐のメンバーが中心となってパラオへ行ってきました。なぜ行ったのかというとPBGパラオロータリークラブの森崎ガバナー補佐が打ち上げをした時に出てこれなかったもので、こちらから出て行って打ち上げをもう一度やろうとなりました。他には東京中央ロータリークラブが提唱して他の12クラブが共同で小学校に遊具を寄付する事業をしていて、その見学をしました。この遊具のおかげで肥満の子が少なくなったそうです。東京日野ロータリークラブのバナーを持って行ってパラオロータリークラブと交換してきました。



【社会奉仕委員会】 吉田 宇秀 委員長

本日はもみじ灯路例会前の例会場での最後の例会となりますので、例会の会費の方を集めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。金額は6,000円です。



【卓話：ロータリー財団について】 奉仕プロジェクト委員会 森原 豊 委員長



本日は本当は小田原さんの卓話の時間だったのですが、議会の方で手が離せないということで急遽お話することになりました。

ロータリー手帳とそこにあるロータリー関連資料を持っているとロータリーのことがだいたい分かります。RLIのファシリテーターもしていきまして、その時に話すのですが、ロータリーの疑問があったときにすごく役に立ちます。

活動計画書に書いてありますが、年会費を払うとこの中に、基本ニコニコ、財団年次寄付、ポリオプラス指定寄付、米山記念奨学普通寄付と寄付も一緒に含まれていますから、その都度払うのと違い、意識が財団とかに行かないと思います。11月は寄付を募りやすいようにロータリー財団を意識しやすいように財団月間が設定されているのだと思います。財団寄付額の表を見ると、3年前の年次基金(150ドル以上)、ポリオプラス(30ドル以上)、恒久基金(1,000ドル以上)に基づいて補助金支給限度額が決まっています。この寄付額は一人当たりの金額となっています。人数の多いクラブが多く補助金をもらえるかということ、そうではないことがこの表から分かります。今年の東京日野ロータリークラブは4,000ドルが補助金支給限度額となっています。

ロータリー財団ですが、日本では公益財団法人ロータリー日本財団があります。財団とは辞書で調べましたら「一定の公共の目的のために提供された財産を基礎とする法人」とあります。公的な目的のためにお金を集めるというのが財団という組織です。ロータリー財団は会員の寄付だけによって成り立っている組織です。地区補助金は今まで中学生国内留学の資金に充てていました。今年度は新選組まつりの行列に参加する子どもたちの衣装代ということで申請して受け取るようになっていきます。次の遠藤年度に補助金を使って何をするかというのが日野クラブとしては一番の問題になっています。皆さんの中でこういうのが良いのではないかとするのはありますか？だいたい青少年関係の事業に使っているのが多いと思いますが、これは来年の4月までに申請をしなければいけません。最近はこのクラブも補助金申請をするようになってきましたので早く申し込みをしておかないと資金が無くなってしまいます。来年の2月くらいまでには案を作っておきたいところです。遠藤さんお願いします。

財団はどのようなことをやっているかということ、ポリオです。ポリオは寄付金の中でもポリオに限定された資金でやっています。ポリオプラスと言いますが、元々はポリオだけが対象だった訳では無いのです。当時の感染症の百日咳などあったみたいで今でもそこにお金が回っています。ポリオに感染されて障害を持った人たちの生活の援助もポリオプラスで資金が提供されているようです。

補助金をもらうにはいろいろと制約がありまして、国際奉仕で海外で使うグローバル補助金の場合は、まず現地調査をしなければいけないということ、相手方のロータリークラブと共同で発案するという形をとらなければいけないこと、事業が終わった後もその経過を継続して見ないといけないこと、報告書を書かなければいけないなど制約がたくさんあります。ですので地区補助金を使った国際奉仕が結構行われていますが、最初からグローバル補助金だと垣根が高いです。私は3月終わりからアフリカに行ってきました。行ってきた国は最貧国ですから、援助が欲しいという要望は

強いです。海外のロータリークラブはとてつもないお金持ちが集まっています。そういう人たちとタイアップしてやるというのは相当な繋がりが無いと難しいかなというのを行って感じました。現地に信頼できて事業に詳しい人間がいないと非常に難しいと感じました。まして水関係の地質検査をしなければいけないとかとかなると、普通に物を送るとの違いハードルが高いと感じました。第2750地区でもケニアに井戸を掘るプロジェクトを3つのロータリークラブで組んでやったことがあるそうですが、途中で空中分解してしまったという話があるので、物を送る援助と学校を立てるようなプロジェクトのハードルは数段違います。ですので私たちのクラブで国際奉仕をするに当たって、今回トーゴ国で何かやりたいと検討していましたが、水を掘るとかいうのはハードルが高くて無理かなというのが私の印象でした。ですから代わった事業として何か向こうに送るであるとかができれば良いかなと思っています。トーゴのアニカと先日話したのですが、ミシンなど現地の人たちがハードルが高くないでできる援助をこれから模索してゆきたいなと個人的には思っています。引き続きクラブ全体として案を練ってやって行ければと思っています。

グローバル補助金プロジェクトの例をいくつか紹介します。「ブラジルに新生児集中治療室を設置する」という事業で、中津川ロータリークラブ提唱で予算が172,500ドル。新生児死亡率が他の地域よりも高かったところ、このプロジェクトを行うことによって新生児死亡率が半減したそうです。他には「グアテマラで若いコミュニティーリーダーを訓練する」という事業で、平和構築と紛争予防の分野になります。提唱クラブは米国カリフォルニア州マンハッタンビーチロータリークラブになります。また「トルコでの乳がんの集団検診」事業、「バングラデシュの田舎における子宮頸がんとの闘い」事業などがあります。グローバル補助金で使えるお金が最低30,000ドル、最高が200,000ドル程となっています。このくらいのお金を使うとなるとクラブの中にコネがある人がいないとなかなか難しいと思います。うちのクラブで会社の繋がりとか関係の深い人がいるとかでその人を仲介して事業を行うとか出来ると思うのですがそれが無いと難しいと思います。ですから地区補助金を申請するクラブは多くあるのですが、グローバル補助金を申請するクラブは少なくて予算も今までの蓄積があるそうなので、多少金額が大きい事業でも要件が揃えばたぶん通ると思うんです。補助金審査委員会というのがありましてその人の話を聞くと地区補助金はほぼ申請に誤りは無くて通るみたいですが、グローバル補助金は何回も手直しするのが現状だそうです。うちのクラブでもどなたか英語の達者な人または海外との繋がりのある人に入会してもらってグローバル補助金を使った国際奉仕を是非やりたいと思います。みなさんのご協力をお願いいたします。

普段の寄付の中で会費の中から徴収されているものとして、特別寄付として災害があった時などに使われますが、一番の特徴として災害時のロータリークラブに送金するというのが他の寄付と違うところだと思います。日赤はたくさんお金を集めますけど、いくら集まっていくら何処に行ったのか全然分からないところがあります。その点ロータリークラブのお金の扱いは間違い無くて年次報告で報告されていますし今後もそうしてゆくのだと思います。もうひとつ、先日ポリオのことについてRLIの研修の時に聞いたのですが、ポリオ寄付金についてです。今ポリオで発症している地域はパキスタンとアフガニスタンの2国だけです。そこにものすごいお金がかかっています。ポリオが無くなったらこの寄付金はどうなるのかと質問をしました。3年間、野生株による発症者がいなくなったら完全終結ということで寄付は無くなると言っていましたけれども実際はどうなるのか。感染者ゼロになっても寄付金はなくなるのでは無いかと思っています。他の名目を付けて使うのではないかと思います。

私がロータリーに入った時も特別寄付が2回か3回ありましたけれど、これから災害がこれだけ増えてくると特別寄付で集める機会が相当多くなって来るのではないかという気がします。それと私のところは秋田なのでテレビを点けると熊が何匹街中を歩いていたという話が多いのですが、ロータリークラブは今後自然環境ということに力を入れていて、うちのクラブでもこれから提唱したらと思ったのが、熊が何で街に降りてくるかと言ったら山に餌がないからなんです、山に栗の木とか柿の木とかドングリの木を植えるのも提唱しても良いと感じました。知床の熊の映像を見ましたけど痩せていて熊でないなと思いました。いろんなお金の使い方があると思うのですが我々も黙ってお金を払っているのではなくロータリー全体として第2750地区としてまた我々クラブとして提唱していったら良いのではないかと思います。

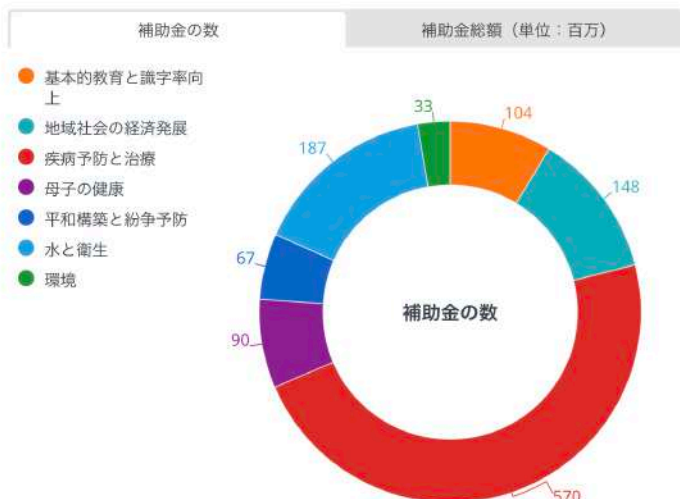


ロータリー財団

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。



2021-22年度グローバル補助金（重点分野別）



【出席報告】 倉林 弘明 委員



	会員総数 (出席免除数)	出席総数 (免除者出席数)	MU	欠席	出席率
本日報告(11/8)	34 (0)	21 (0)	1(0)	12	64.706%
前回訂正(11/1)	34 (0)	25 (0)	1(0)	8	76.471%
前々回訂正(10/25)	34 (0)	13 (0)	10(0)	11	67.647%
前々々回訂正(10/18)	34 (0)	24 (0)	5(0)	5	85.294%

<事前の MU>

岩田 和頼 (もみじ灯路実行委員会)

<前回の MU>

小島 馨 (クラブ奉仕)

<前々回の MU>

阿野 正揮 (理事会)、石場 裕美 (理事会)、遠藤 力 (指名委員会)、熊井 治孝 (クラブ奉仕)、田中 くに子 (理事会)、山下まなぼう (指名委員会)、山口 徹雄 (指名委員会)、伊東 秀章 (理事会)、岩田 和頼 (理事会)、高城 秀一 (理事会)

<前々々回の MU>

阿野 正揮 (クラブ奉仕)、伊東 秀章 (理事会)、吉田 宇秀 (理事会)、鈴木 洋子 (職業奉仕)、疋田 久武 (クラブ研修)

【ニコニコ報告】 西山 尚之 委員

本日のニコニコ： 2,000 円 / 累計 254,601 円

ビジターフィー： 0 円 / 累計 33,000 円



北村 淳 君.....森原様 急遽卓話のピンチヒッターよろしくお願ひします。

東京日野ロータリークラブ会報

事務局：〒191-0031 東京都日野市高幡 3-8 田中ビル 3 階

TEL：042-594-3711 fax：042-593-0510

例会：毎週水曜日 (12:30 より) 例会場：高幡不動尊客殿

URL：<http://www.hino-rotary.org> 桃源院青雲 5 階(2023.7.1~)

メール：info@hino-rotary.org

会長：北村 淳 幹事：伊東 秀章

会報委員会：山口 徹雄 (委員長)

疋田 久武 (副委員長)

小島 馨

菅原 直志

山下 雅裕